

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	祝園(7)倉庫新設等建築工事	階数	地上2F	
建設地	京都府相楽郡精華町大字北福八間	構造	S造	
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	0人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2026年3月9日	
敷地面積	5,847 m ²	作成者	長岡洋子	
建築面積	2,277 m ²	確認日	2026年3月9日	
延床面積	4,524 m ²	確認者	長岡洋子	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.9 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境効率 BEE = 0.9	★☆☆☆☆ 標準計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 91% ③上記+②以外の 87% ④上記+ 87% このグラフはLR3「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。 ④は参考として運用分をB目+で表示しています。	Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質	Q のスコア = 2.8	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1 のスコア = 0.0	Q2 のスコア = 3.6	Q3 のスコア = 2.2
音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	機能性 耐用性 対応性	生物環境 まちなみ 地域性・地域性
LR 環境負荷低減性	LR のスコア = 3.1	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1 のスコア = 2.8	LR2 のスコア = 3.4	LR3 のスコア = 3.1
建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	水資源 非再生材料の 汚染物質	地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・京都府相楽郡精華町に位置する倉庫業を営む倉庫である。 ・材料使用料の削減など資源保護に努め、ライフサイクル計画の長寿命化を図った計画である。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	・補修必要間隔の長い外壁・内装仕上げを採用し、ライフサイクル計画の長寿命化を図った。 ・壁長さ比率や天井高、荷重に余裕を持たせゆりのある空間とした。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・LED照明器具の採用により、エネルギー削減を図った。	・自動水栓や省水型機器を用いた。 ・使用する材料に配慮しており、エコマークやグリーン購入法対象品などのリサイクル材を採用し、資源保護に努めた。	・燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される